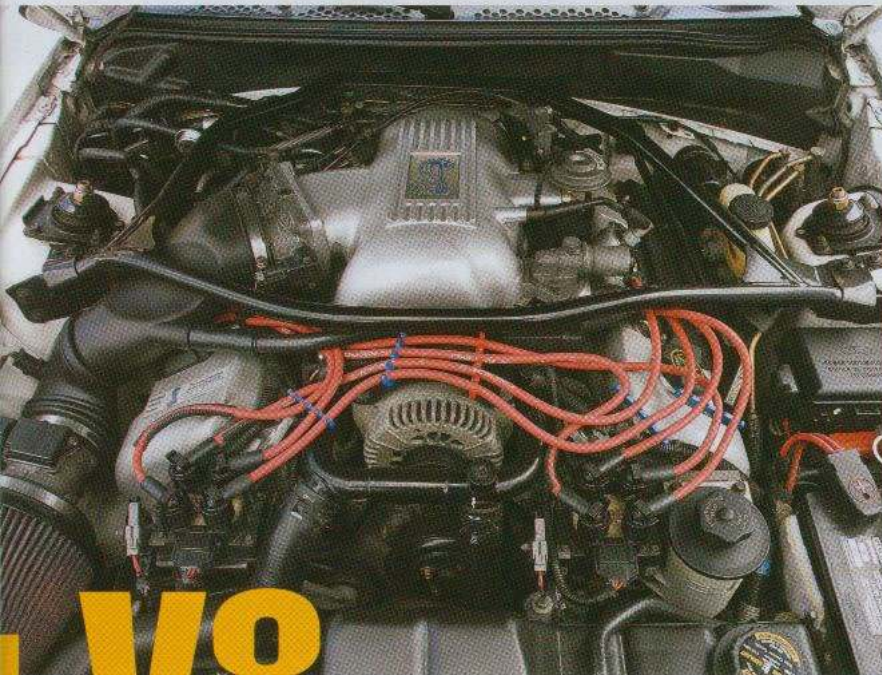


足まわりを強化して、より毒性を強めた Hi-Po マスタング、SVT コブラ!!



**V8  
DRIVE!!**

搭載エンジンは281cuin(4.6ℓ)の32バルブDOHCオールアルミV8。圧縮比は9.85:1、最高出力305hp、最大トルク300lbftを発生する。

ブレーキにはSSBCのスリットローターやPBRの4ポット・キャリパーなどを採用してよりヘビーデューティ化。アイパハのPro-kit スプリングおよびビルシュタイン製ショックを採用したサスペンションと併せて、スポーツカーと呼ぶに相応しいタイトな走りを実現した。デファレンシャルはトラクション・ロック付きで、ファイナルは3.27となる。



最後にひとつ90年代のスポーツ・クーペにもスポットを当ててみよう。撮影したのはFOX-4ボディのマスタング、とは言ってもタダのマスタングではなく、SVT (Ford's Special Vehicle Team) が開発した「コブラ」というネーミングが与えられたハイパフォーマンス・バージョンである。

このSVTコブラは先代のFOXマスタング最終年となった93年型で登場し、95年型まではOHVの302cuinV8ユニットを搭載した。だがマスタングの標準V8モーターが281cuinのSOHCに切り替わった96年型からは、同じキャパシティのオールアルミ32バルブDOHCユニットを備えるようになり、その毒々しい(?)性格をより強くアピール。トランスミッションはボルグワナー製のT45・5スピード・マニュアルが組み合わされ、スポーツカーと呼ぶに相応しいパフォーマンスとドライバビリティを実現したのである。

取材車は97年型をベースに、サスペンションやブレーキをモディファイしてさらなるヘビーデューティ化を果たした猛者で、ご覧のようにシフトターをショートストローク・タイプに変更したことも手伝って、その走りはますますHOTになっ

